

大項目	IV 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画							
中項目	1. 予算 2. 収支計画 3. 資金計画							
事業名	予算、収支計画、資金計画							
【年度計画】								
1. 予算 別紙のとおり								
2. 収支計画 別紙のとおり								
3. 資金計画 別紙のとおり								
担当部課	本部事務局財務課			事業責任者	課長 香取 雄太			
【実績・成果】								
<ul style="list-style-type: none"> ・29年度事業開始前の3月1日付で当初予算配分を実施し、早期に業務を遂行できる体制を整備した。 ・年度内に新たに発生した法人全体又は各施設に関わる業務で緊急性且つ必要性が高いと認められた事業に関しては、理事長了解の下、予め本部で留保していた予算（理事長裁量経費）を該当施設へ速やかに予算配分することで業務遂行に支障をきたさない運営を実施した。 ・人件費にかかる予算は本部一括管理とし、無駄のない効果的な運用が図られた。 ・11月に各施設へ優先度は高いが予算不足のため調達できない文化財や研究機器、工事等を照会した。第5回役員会（12月5日）にて、本部で留保している予算を重要度が高い事業に対し配分することを決定し、機動的な予算管理を実施した。 ・獲得した外部資金の中には精算払のものもあり、資金繰りの悪化が予想される施設には予め資金の貸与を行うことで法人全体として効率的な資金管理を実施した。 ・運営費交付金は四半期ごとの入金であるが、予め国へ四半期ごとの必要額を伝えることにより、計画的な資金管理を実施した。 								
【補足事項】								
【定量的評価】項目	29年度実績	目標値	評価	経年変化	25	26	27	28
-	-	-	-	-	-	-	-	-
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 概ね当初計画に沿った管理が行われている。また、年度内に起こった不測の事態にも速やかに対応した。							
【中期計画記載事項】 管理業務の効率化を図る観点から、各事業年度において、適切な効率化並びに積極的な自己収入の増加に向けた取組を踏まえた予算及び収支計画による運営を行う。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 計画どおり取組を実施している。							